

公開研究集会

有珠山次期噴火に想定される土砂災害の減災に資する技術の最前線

主催：(公社)砂防学会有珠山土砂災害減災技術研究会 後援：(公社)砂防学会北海道支部、北海道開発局、北海道

本研究集会(2021年～2023年)は、有珠山次期噴火時の土砂災害減災に資する技術課題について、効果的な先端的な土砂災害減災技術手法を提案することを目的としています。研究集会メンバー等による技術開発や研究の成果について話題提供し、行政担当者を交えて情報交換、議論します。

日時：2023年12月14日(木) 10:30-16:00

場所：北海道大学学術交流会館小講堂(1F)

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/>

10:30-10:40 研究集会の開催趣旨、活動などの説明(山田孝 北海道大学農学研究院教授・広域複合災害研究センター長)

10:40-11:10 火山砂防計画策定指針の改定(国土交通省砂防部砂防計画課地震・火山砂防室課長補佐 榎野誠)

11:10-11:40 道内9火山の緊急減災計画と策定後の取組(北海道建設部土木局河川砂防課主任 宮脇幸大)

12:00-13:00 休憩

13:00-14:20 各技術課題の発表 15分発表5分質疑応答

①土石流発生雨量監視のための可搬型気象ドップラーレーダを用いた観測的研究(北海道気象技術センター技師 鶴巻亮一)

②活動中火山における高高度LPの三次元地形データ取得の検討(朝日航洋株式会社防災コンサルタント部流域防災グループ技師 齋藤はるか)

③立入禁止区域外からのUAVによる流域土砂環境モニタリング手法(村上泰啓 国土交通省北海道開発局札幌開発建設部河川整備保全課事業専門官、北海道大学広域複合災害研究センター研究員)

④UAVを活用した高精度地形計測事例(早川智也 日本工営株式会社広島支店次長) ※オンライン発表

14:20-14:30 休憩

14:30-15:50 各技術課題の発表 15分発表5分質疑応答

⑤分布型土石流流出解析モデルによる降灰後土石流の発生・影響範囲予測手法(清水武志(国研) 土木研究所火山・土石流チーム研究員 ※オブザーバー参加)

⑥様々な緊急対策工法の活用手法(厚井高志 北海道大学広域複合災害研究センター副センター長・准教授) ※海外出張中のため発表なし、発表PHPを紹介)

⑦現地火山灰を用いたソイルセメントの開発と施工方法(秋山祥克 株式会社インボックス代表取締役、宮木康二 株式会社北海道土砂資源化研究所長)

⑧火砕サ-ジによる警戒避難の課題(山田孝 北海道大学農学研究院教授・広域複合災害研究センター長)

15:30-16:00 全体討議

16:00 閉会

参加 Zoom ミーティング(10:00から入室可能)

参加 Zoom ミーティング

<https://zoom.us/j/93408915380?pwd=SSswSGtNS2dxZnFwdUhuQWVTSmFQQT09>

ミーティング ID: 934 0891 5380 パスコード: 142328

有珠山2000年噴火時に発生した熱泥流の減災に貢献した砂防施設(1977年噴火後に施工)(北海道 写真提供)

参加無料

問い合わせ先：山田孝 北海道大学農学研究院 E-mail: tyamada@agr.hokudai.ac.jp

TEL/FAX: 011-706-2513